

が じ ま る

2018年

6

**麻酔科・手術室で患者さんの全身状態を的確に管理
診療科／各部署紹介③入退院サポートセンター**

中部徳洲会病院
ソフィアクリニック
徳洲会ハンピークリニック
与勝あやはしクリニック
よみたんクリニック
徳洲会新都心クリニック
おきなわ徳洲苑
グループホーム美ら徳
徳洲会伊良部島診療所
宮古島徳洲会病院
石垣島徳洲会病院

☎ (098) 932-1110
☎ (098) 923-2110
☎ (098) 926-3000
☎ (098) 983-0055
☎ (098) 958-5775
☎ (098) 860-0755
☎ (098) 931-1215
☎ (098) 931-1223
☎ (0980) 78-6661
☎ (0980) 73-1100
☎ (0980) 88-0123



Organization Accredited
by Joint Commission International



Japan Medical Service Accreditation
for International Patient



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 地域医療連携室広報
所在地 〒 901-2393

沖縄県中頭郡北中城村アワセ土地地区画整理事業地内2街区1番

☎ (098) 932-1110(代) / FAX (098) 931-9595(代)

ホームページ <http://www.cyutoku.or.jp>

E-Mail daihyo@cyutoku.or.jp



ANESTHESIOLOGIST

大灣 喜市 副院長 麻酔科部長



360度を冷静に見渡しながら、
患者さんの全身状態を的確に管理する。

PROFILE

大灣 喜市 副院長（麻酔科部長）

- 出身：那覇市
那覇高校 東京医科歯科大学卒
- 所属学会：
日本麻酔科学会
- 指導・専門・認定：
日本麻酔科学会専門医、麻酔標榜医





— こんにちは。先生が担当されている麻酔科なんです
が、なかなか一般にはなじみが
ないと思うんですが。

大湾 — ええ。手術室が仕事
の中心ということもあり、患
者さんと直接お話しする機会も
あまりないので、判りにくい
かもしれませんね。

— 簡単に仕事の内容につい
て、教えていただけますか。

大湾 — 麻酔科医の主な仕事
は、手術に際しての麻酔管理
ということになります。

簡単にいうと、手術中の、
患者さんの全身状態を正常に
保ち、術中の患者さんの痛み
を管理します。

— もう少しわかりやすくお
願いします(笑)。

大湾 — はい(笑)。

まず、手術では執刀医が患
者さんの身体にメスをいれま
すが、この時、患者さんを痛
みから守ってあげる必要があ
ります。それから、麻酔によっ
て患者さんの筋肉の動きも一
時的に衰えるため、呼吸を正
常に保つ必要があります。

また、手術により血圧や心
拍にも影響が出るので、これ
を適切に管理するのも麻酔科
医の仕事ですし、手術の際に
どのタイミングでどの程度輸
血を行うかを判断するのも、
麻酔科医の大切な役割です。

— 患者さんを痛みから守
る、呼吸や血流を管理する、
ですね。

大湾 — もちろん他にもいろ
いろありますが、大きくはそ
んなところでしょうか。

— 手術中は、どんな感じな
んでしょう。

大湾 — そうですね。まず手
術中は、患者さんの頭の上の

方において、常にモニターな
どで患者さんの身体状況を
チェックし、さらに手術チー
ムの動きを観察して、必要な
時に必要な機器を適切に操作
したり、輸血や輸薬など、適
切な指示が出せるよう360
度を見渡しながら、常時スタ
ンバイしているという感じで
しょうか。

— でも手術って、何時間も
かかりますが、体力的にも精
神的にも疲れるんじゃないで
すか。

大湾 — 常時スタンバイと
いっても、あまり緊張しすぎ
ると、判断や行動に影響が出
てしまうので、どちらかとい
うと、リラックスしながら緊
張状態を保っている、という
感じですね。

— 続いて、現在の麻酔科の
体制について教えてください。

大湾 — 麻酔科は、現在5名
体制で動いています。それと、
心臓外科手術の際などでは、
琉大附属病院から麻酔科医の
応援派遣をしていただくこと
もあります。



手術前のカンファレンス

学しました。

— 医師を志したのは、いつごろから？

大湾 — うーん。実は、小学生の頃から薬剤師だった祖父に、『医者になれ、医者になれ』と。刷り込み効果ですね（笑）。

— 医科歯科大での思い出を、ひとつ教えていただけませんか。

大湾 — そうですね。当時、学生寮に住んでいたんですが、通学電車の中で、若い女

性が発作を起こして倒れたのに出くわしたんです。てんかんの症状でした。

とっさに、呼吸や脈の確保をしながら、近くの人に駅員を呼ぶようお願いして、その後、救急病院まで付き添って連れて行ったことがあります。



それで、何日かしてから、寮までご夫婦でお礼にこられて、『ああ、人から感謝されるのって、こんなに嬉しいんだ』と実感したことがあります。

— 麻酔医になろうと思ったきっかけは、何でしたか。

大湾 — 学生の頃は外科医になりましたが、卒業して医局に入ってから、『麻酔科医の心得があった方が、患者さんに何かあった時、素早く対応ができるんじゃないか』と思い、まずは麻酔科で修行しよう。

— その後、結局、進路変更をされなかった。

大湾 — まあ、医科歯科大の医局が居心地よかったということもあったんですが、大学

病院や関連病院を行ったり来たりしながら、専門医の資格も取って、十年余り勤務していました。

とはいえ、全く迷いがなかったかという点、なかなかそうでもなくて、40歳ぐらいの時に、一度は、方向転換しようかと悩んだこともありましたが、新しいことにチャレンジするのなら今しかないのになって。

— それで、方向転換されたんですか。

大湾 — ところが、その頃、実家の母が肺炎で入院したんです。兄弟で、交代で付き添っていたんですが、急に病状が急変したことがあったんです。『あ、呼吸していない』と。ナースを呼ぶと同時に、人工呼吸を施して気管への挿管まで自分でやって。

その時、何故か、『これは麻酔科医を続けなさいという啓示なのかも』と思っちゃったんですね。よく考えると、直接の結びつきはないんだけど、でもそう思ったんです。

— 帰沖はいつ頃？

大湾 — 母が入院したのが平成4年で、その後、平成6年に、その頃、当院の院長をされていた堀川義文先生や、大学の先輩の安富祖久明先生に誘われて、麻酔科医として沖繩に帰ってきました。

— その当時、麻酔科には他に担当医はいたんですか。

大湾 — 最初は、麻酔科医は私一人でした。その後、だんだんスタッフも充実してきたので、これからは手術だけでなく、是非、ペインクリニックも手掛けていきたいと思っています。

— 最後に、若い先生方に、麻酔科の魅力を伝えていただけますか。

大湾 — そうですね、麻酔科の勉強をすれば、救急救命に必要な知識と技術を身に付けることができます。

救急救命を志すなら、是非、麻酔科の勉強をすべきだと思います。

— ありがとうございます。

中部徳洲会病院 先端医療技術のご紹介

中部徳洲会病院は 2012 年に沖縄県内の医療施設で初めてダヴィンチを導入、前立腺癌の全摘手術、腎がんに対する腎部分切除術の 2 つの分野で県民に貢献しています。

遠隔操作による内視鏡手術支援ロボット・ダヴィンチ (da Vinci Surgical System)

内視鏡手術は、お腹に 2 センチ程度の小さな切開を行い、そこから内視鏡と細い手術器具を入れて手術をするものです。切開部がごく小さいことから痛みが少なく回復が早いのが特徴。ダヴィンチは、この内視鏡手術を支援するロボットで、手の可動域が人間よりも大きく、また人間ではできないミリ単位の操作が可能です。

今年度、保険適用が前立腺癌の全摘手術と腎がんに対する腎部分切除術の 2 手術から、12 手術に拡大。今後は、より多くの患者さんのために役立っていくことが期待されます。

【ダヴィンチ手術のメリット】

- ・ より少ない出血量
- ・ 輸血を受けるリスクが少ない
※ダヴィンチ手術で 1.01% 以下
- ・ 低侵襲*手術による体の負担軽減
※低侵襲とは、内視鏡手術や血管内手術を代表とする、従来よりも侵襲（病気や怪我だけでなく手術や医療処置のような、生体を傷つけることすべてを指す）の少ない手術のこと。
- ・ 3D 映像、手ぶれ防止機能により神経などの機能温存に優れている
- ・ 術後の感染症のリスク軽減
- ・ 術後回復が早い（入院期間の短縮）
- ・ 従来の開腹手術に比較し小切開で済み、身体的負担軽減になる



【ダヴィンチ手術の特徴】

- ・ **3D HD Vision**
術野がリアルな 3D 映像で表示されており、術者は操作部のモニターで奥行きのある体内映像を見ることができます。
- ・ **直感的な動き**
操作部では、術者の目と手の距離感を維持し、鉗子の直感的な操作を可能にします。
人間の手ではできない、ミリ単位の操作が可能です。
- ・ **柔軟な動き**
ロボットの手は、人間の手と同等以上の可動域を持っています。これにより人間ではありえない角度の手の動きが可能です。





診療科／各部署紹介③

入 退 院 サ ポ ー ト セ ン タ ー

傾聴の心で、患者様とそのご家族に寄り添い、
安心して入院生活を送っていただけるよう、入退院時
のサポートを行っています。

今日は、入退院サポートセン
ターの皆さんに、お話を伺い
ました。

入退院サポートセンターの最
も大切な役割は、患者さんと
ご家族の入院時の様々な不安
を、適切で丁寧な説明を通し
て解消すること。
サポートセンターの看護師や
事務職員が協働して、検査や
手術、治療や入院生活の流れ、
健保利用などの情報を提供す
るとともに、入院に必要な諸
手続きをワンストップサービ
スでご提供しています。

中部徳洲会病院の1階の正面
エントランスから入ると、向
かって右手にファミリーマー
トがあります。その隣にある
のが入退院サポートセンター。



患者さんに寄り添う、より良い看護のために

本吉和美センター長

入退院サポートセンターは、患者さんが入院される際に必要な手続きや入院生活の流れなどの情報を、ワンストップで提供しています。またスタッフの話にもあるように、どうすれば、患者さんやご家族の入院に関わる不安を事前に取り除くことができるかを、常に考えて業務を行っています。

さらに、患者さんの普段の生活の様子や歩行など身体機能について丁寧にお聞きし、その情報を病棟看護師などと共有することで、患者さんに寄り添う看護・医療を実践することを目的にしています。

ただ、そのためには患者さんのお話を事務的にお伺いしては、ダメなんです。なによりも大切なのが傾聴の姿勢。先入観



を持たず、ひたすら患者さんやご家族に寄り添ってお話をお聞きする姿勢が必要だと思

います。そうすることで、患者さんやご家族の方も、心からリラックスして、不安なく入院生活に入っていけるのではないのでしょうか。

ところで、こうしてヒアリングできた患者様の身体や生活状況に関わる情報の活用についてですが、院内のセクションをまたいで看護や治療、リハビリに活用するのは当然ですが、さらに退院後に向けて当院の医療福祉相談室とも連携、地域との協働で患者さんやそのご家族が安心して生活していただけるように活用しています。

このように私たちサポートセンターが早期に介入することは、大変大きな意義があると考えていますし、その役割も、まだまだ広げていく余地も大きいと考えています。

例えば、私たちが聞き取った患者さんの情報について、病棟看護師と上手に共有する仕組みを作っていくことで、病棟看護師の業務負担を減らすことも可能でしょうし、それにより、看護師がもっと患者さんに向き合う時間ができれば、より良い看護ができるのではないかと思います。



仲本 春奈

― 最初に、仲本さんから、お話を伺わせてください。
仲本さん、サポートセンターの仕事の流れを簡単に紹介していただけますか。

仲本 ― まず、外来で医師から入院が必要だと診断された患者さんは、入院の際にこちらに来所いただくか、ケースによっては、私たちの方から外来や日帰り手術センターに直接行って、入院に関わる様々な手続きについてご説明します。その際、特に高額医療費にかかわる限度額認定証の説明は重要で、理解しやすいように丁寧な説明を心がけています。

― 限度額認定証とは、なんですか？

仲本 ― 限度額認定証は、高

額医療費制度を利用するために必要な認定証です。

まず、高額医療費制度ですが、国保や健保など、健康保険に加入していることが必要で、病院での窓口支払いが重くなりすぎないように、1か月の医療費が上限額を超えた場合に、その超えた額を健康保険から支給する制度です。

あらかじめ限度額認定証を申請しておくか、急な入院などの際には、その時に取得しておくと、取得したその月から高額医療費制度の利用が可能で、その分、用意する金額を軽減することができます。

― ありがとうございます。
その他は、どんなことがあるでしょう。

新垣 ― そうですね。入院の手続きとあわせて、入院生活



新垣 愛

についてのオリエンテーションも行っています。

特に、初めて入院される方にとっては、何もかもが不安でしょうから、できるだけわかりやすいようにパンフレットをお見せしながら、流れに沿って、丁寧にご説明するようになっています。

— 看護師としての立場から、サポートセンターの特徴はどんなところにあるのか教えてください。

新垣— はい。なんといっても、患者さんとゆくりお話できるのが、サポートセンターの看護師の特徴だと思います。

病棟勤務だと、患者さんのお話を時間をとってお聞きしたいと思っていても、なかなか思うに任せないところがあるんですが、今の部署だと、入院前のいつときとはいえ時間をかけてお話を伺えるのが嬉しいですね。

— どんなことをお聞きになるんでしょう。

新垣— 例えばご自宅での生

活の様子や、食事の好み、歩行の様子、足が痛くないとか、杖などの補助具の利用状況など生活の具体的な様子をお聞きしています。

— そうした情報は、どのように活用するのですか。

新垣— はい。電子カルテに記載することで、今後の看護やリハビリに役立てることが出来ます。もちろん、必要に応じて、病棟看護師やリハビリの担当者に電話で伝えたり、直接、会って伝えることもあります。

こうすることで、患者さんのQOL（生活の質）の維持・向上に向け、担当部署の垣根を越えて取り組むことが出来るし、また、福祉サービス活用のための情報として役立てることが出来ます。

— ありがとうございます。続いて、皆さんが患者さんとお話する際に心がけていることがあれば教えてくださいませんか。

名嘉真— そうですね。患者さんやご家族、おひとりおひ

とりにきちんと時間をとってお話を伺うように心がけています。

例えば、不安なこととか、わからないこととか。特に初めての入院とかだと、わからない事だらけで、余計不安も募ると思うので、急かさずに、患者さんのペースでお話するようにしています。

それと、ご説明する際には、自分の名前をお伝えしてからお話するんですが、説明が終わった時に、名前を呼んで、『とても丁寧な説明でありがとう』とお礼を頂くこともあって、そんな時は、とても嬉しいですね。

前堂— 入院の手続きが終わって病棟にご案内する時に、できるだけ気軽に話しかけるようにしているんですが、その時に、『入院は、やつ



名嘉真 花



前堂 美希

ぱり不安ですよ』とお声かけいただくことがあります。そんな時は、できるだけ元気づけるようなお話をするんです。

それで、退院の時に名前を覚えてくださって、『前堂さん、ありがとうございます』とお声かけいただくと、本当に嬉しいです。

— 前代さんは、いかがですか。

前代— 私は、この4月に地域医療連携室から移動になったばかりなんですが、サポートセンターでは、直接、患者さんと触れ合えることが多くて、コミュニケーションの大切さを実感しています。患者さんの状況やお気持ちは、ひとりひとり違うので、どうすればそのお気持ちに寄り添っ

ていけるかを模索中です。それと患者さんとのコミュニケーションはもちろんなんですが、病棟看護師など院内でのコミュニケーションも大切だと思っています。きちんと要点を捉えて端的に伝えようように努めています。

仲宗根— 病院移転にともなって退院時の会計業務は、サポートセンターで行うことになり、支払い窓口が二つに増えました。最初は、『サポートセンターで退院会計業務をやるの?』って驚いたんです。でも実際に始まったら、退院患者さんやご家族の方から、「会計の待ち時間が短縮されて、ゆったり会計して帰れます」とお声かけ戴くようになったんです。嬉しかったですね。

— 仲宗根さんは、会計業務を担当されているんですね。

仲宗根— はい。会計業務を中心に、スタッフの業務サポートをしています。サポートセンターは、患者さんと直接、触れ合う部署なので、会計の時でもできるだけお声か



前代 舞 まい

けして、笑顔で会話をするようにしています。

— やはりコミュニケーションは、重視しているんですね。

仲宗根 — ええ。そういう意味で、ここ、サポートセンターのスタッフは、みんな患者さんにとっても優しく接していて、心強いです。

それに、とても意欲的で勉強熱心なので、私も、長年、医療事務で得た経験と知識を少しでも分けてあげられるように心がけています。

例えば医療保険の仕組みとか、とても複雑だし、毎年、法改正で変わっていくので、そのあたりのフォローができればいいなと思っています。

— ありがとうございます。
ところで、みなさん、業務

を通じて、印象に残ったこととかがあれば、教えていただけますか。

仲本 — まだ配属したての頃だったんですけど、お子さんの入院でいらした親子連れの方なんですけど、病棟にご案内する途中、エレベーターに乗った時に、お子さんが急に痙攣の発作を起こされたんです。

もちろん、すぐに医師につないだんですが、その間、お母さんに絶えずお声かけして、できるだけ落ち着いていただけるように心がけたんです。常に、冷静に患者さんやご家族をサポートできるように態勢を整えておくことが大切なんだなと実感しました。

前代 — そうですね。異動して間もないこともあって、患



仲宗根 尚子 なおこ

者さんを病棟にご案内する間は、やはり緊張します。

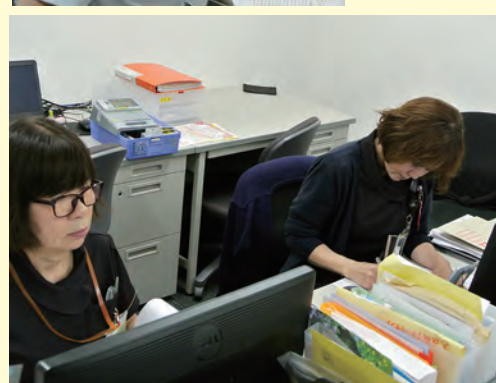
特に、救急外来の患者さんをストレッチャーに乗せて病棟にお連れする時には、やはり不安ですね。

名嘉真 — その一方で、お年寄りの患者さんとか、うちなー口で話されているときに、実はよく分かっていないんですが、分からないながらも一生けん命、お話を聞き取っているんだんだん打ち解けられて、いろんな話を聞かせてくださることもあって、緊張だけでなく、ほっとするひと時もありますね。

前堂 — いろいろドキドキすることもあるけれど、笑顔を大切に仕事をしていきたいです。

新垣 — そうですね。入院患者さんと最初に関われる業務なので、できるだけ患者さんのストレスを軽減できるように努めたいですね。

— ありがとうございます。





●第14回徳洲会カップ 中頭地区小学生バレーボール大会開催



4月21日(土)・22日(日)の2日間、『第14回徳洲会カップ 中頭地区小学生バレーボール大会』がうるま市具志川総合体育館をメイン会場に開催されました。

今大会では51チームが参加、ちゅーぱーリーグ20チーム、チャレンジリーグ31チームに分れて熱戦が繰り広げられました。ちゅーぱーリーグ、優勝は、高原ボーイズ(男子)、準優勝は田場クラブ(女子)。また、チャレンジリーグでは兼原ボーイズ(男子)が優勝し、準優勝は勝連クラブ(女子)。両リーグとも決勝戦は手に汗

握る素晴らしい試合でした。また、高良紗叶選手(高原ボーイズ・男子)、安座間琉新選手(兼原ボーイズ・男子)の2名が優秀選手賞を受賞しました。

大会終了後、6年生(350名)を対象に、中部徳洲会病院バレーボールチームによるバレーボール教室を開催。選手たちは、パスの基本を中心にスパイク、トス、レシーブなど楽しみながら一生懸命に指導を受けていました。引き続き、徳洲会チームとミニゲームが行われ、勝って喜ぶ子供たちや、負けて悔しがる子供たちなど、約3時間にわたり、楽しい時間を過ごしました。本大会に参加された子供達が、沖縄県代表、日本代表として活躍される事を期待し、子供達の夢への実現の為、大会が継続して行っていけるよう頑張っていきます。関係各位の皆様、ありがとうございました。



医療法人 沖縄徳洲会の基本理念

当院は下記の基本理念及び基本方針を遵守して、「いつでも、どこでも、だれもが安心して最善の医療を受けられる社会」をめざします。

- 生命だけは平等だ -

- ◎生命を安心して預けられる病院
- ◎健康と生活を守る病院

● 基本方針

- 年中無休・24時間オープン
- 患者さまからの贈り物は一切受けとらない
- 医療技術・診療態度の向上にたえず努力する

● 患者様の権利

- 患者様は、平等かつ安全で良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 患者様は、ご自身の病気や治療方針について、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 医師から提示された治療方針については、患者様ご自身で選択し、決定することが出来ます。
- 患者様のプライバシーは、常に保護・尊重され、配慮を求める権利があります。
- 患者様または、ご家族は当院での診断・治療方法に関してセカンドオピニオン（他の医師の診断）を受ける権利があります。
- 患者様は、診療録の開示を求め自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
- 患者様およびご家族の方は、病院内での安全な環境を提供される権利があります。
- 患者様が未成年者、あるいは法的無能力者である場合は、法定代理人（法律上の権限を有する代理人）に権利があります。
- 意識のない患者様、あるいは自己の意思を表現できない患者様のインフォームドコンセントは、法定代理人に求めます。法定代理人不在時に、医療処置が緊急に必要な場合は、医療処置を拒否する意思を明確にしていない限り、患者様の承諾があったものとみなし、救命に努めます。
- 患者様は、人道的な末期医療（ターミナルケア）を受ける権利、及びできる限り尊厳と安定を保ちつつ死を迎える為にあらゆる可能な支援を受ける権利があります。
- 患者様は精神的および倫理的慰安（自分で選んだ宗教の聖職者の支援を含む）を受ける権利を有し、また拒絶する権利があります。
- 患者様は痛みを緩和する要求をする権利があります。
- 患者様は自己の病気に対する医療情報サービスに関する選択が行え、ライフスタイルや疾患の予防・早期発見の情報を得て保健教育を受ける権利を有する。
- 患者様は、患者様が理解できるコミュニケーションを取る権利があります。病院は、必要に応じ無償で外国語通訳を提供致します。

● 学会認定施設

日本医療機能評価認定施設

基幹型臨床研修病院

全日本病院協会会員病院

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本内科学会教育支援（関連）病院認定施設

日本循環器学会専門医研修施設

日本心血管インターベンション治療学会研修施設

日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設

日本小児科学会専門医研修関連施設

日本外科学会専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医（関連）修練施設

日本脈管学会認定研修指定施設

三学会構成心臓血管外科専門医認定関連施設

日本呼吸器外科専門医（関連）施設

関連 10 学会構成腹部ステントグラフト実施施設

関連 10 学会構成胸部ステントグラフト実施施設

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術実施施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設

日本泌尿器科専門医教育施設

日本麻酔科学会麻酔科認定施設

日本整形外科学会専門医研修施設

日本手外科学会研修認定施設

日本脳神経外科学会専門医認定研修施設

日本脳神経外科学会専門医認定関連施設

日本脳卒中学会認定研修教育施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本医学放射線学会専門医修練協力機関承認施設

日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設認定

全日本病院協会健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施

歯科医師臨床研修協力施設

沖縄県難病医療一般協力病院指定

協力型臨床研修病院

平成30年度『おきなわ津梁ネットワーク』 総務省「クラウド型HER高度化事業」

「クラウド型HER高度化事業」とは：

地域医療支援病院や救急告示病院（*16病院）のEHR等のデータ及び、医科診療所
歯科診療所・薬局・介護施設等のデータを、おきなわ津梁ネットワークに集約し、
クラウド技術を活用して連携医療機関の双方向で利用する事を目的とした事業です。

（*16病院） 北部地区医師会病院 ・ 中頭病院 ・ 中部徳洲会病院
琉球大学医学部附属病院 ・ ハートライフ病院 ・ 浦添総合病院
牧港中央病院 ・ 那覇市立病院 ・ 沖縄赤十字病院 ・ 沖縄協同病院
沖縄第一病院 ・ 豊見城中央病院 ・ 南部徳洲会病院 ・ 南部病院
県立南部医療センター ・ こども医療センター ・ 与那原中央病院

おきなわ津梁ネットワークに参加すると 16病院の電子カルテが公開されます！

※公開する電子カルテの情報は、病院によって一部異なります。

